



横浜市立一本松小学校

5月号

学校だより

令和3年4月30日

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

「はきものをそろえると 心もそろう」

校長 高桑 透

初夏の青空が気持ちよく感じられる季節となりました。休み時間の校庭では、子どもたちが元気に走り回る姿が見られます。授業中の教室では真剣に学習に取り組む姿もあり、令和3年度の教育活動が少しずつ軌道に乗ってきていることをうれしく思います。

今週、戸部警察署交通課のみなさんのご協力により、交通安全教室がありました。1年生は歩き方を、4年生は自転車の乗り方について教えていただきました。交通ルールを守って、自分も命も周りの人の命も大切にすることをしっかりと学びました。始業式、そして入学式で子どもたちと3つの約束をしました。その1番目は、「命を大事にすること」です。学校生活のあらゆる場面ですっきりと意識し、考えることができるように指導していきます。

自分が教員になりたてのときに、研修のために、先輩教員と一緒に隣の学校の授業を参観することがありました。他の学校の授業を見る経験がない自分は、どんな学校なのかな、どんな子供たちなのかなとワクワクしながら校舎内に入りました。するとその先輩からこんなことを教えていただきました。

「その学校の様子を知りたいければ、昇降口を見ればだいたいわかる。」

昇降口に行ってみると、下駄箱に入っている上履きが、ものの見事にきちんと揃っていました。先輩曰く、「靴の入れ方まできちんと指導されていること、そしてそれが学校全体で取り組まれていること、子どもたちが実践していること。それがここに表れている。」ということでした。また、学校に戻ってから、その先輩に次のような詩を教えてもらいました。

はきものをそろえると 心もそろう

心がそろうと はきものもそろう

ぬぐときにそろえておくと はくときに心がみだれない

だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと 世界中の人の心も そろうでしょう



これは、永平寺の道元禅師という方の教えを詩にしたものです。その次の日に、自分のクラスの子どもたちに、この詩を紹介するとともに、靴の入れ方についての指導をしました。また、それ以来、4月最初の学級指導として、靴の入れ方について必ず指導するようになりました。学校だけではなく、家に帰った時にも、友達の家に行ったときも、お店などでも、靴を脱いだ時にはきちんとそろえることができる、そんな人になってもらいたいと思っています。

さて、一本松小学校の昇降口はどうなっていると思いますか。上の写真は、1年生の下駄箱です。かかどが揃っていてとてもきれいに入っていました。1年生のスタートですっきりと指導され、子どもたちもきちんと意識して靴を揃えています。一本松小学校はこんな素敵な学校です。子どもたちのことが、ますます好きになりました。